

進路だより



茨城県立那珂高等学校進路指導部

令和6年度の合格概況について

【国立大学合格1名】（前年度2名）

北見工業大学工学部に一般入試での合格者が出ました。本人は合格までの道のりについて次のように話しています。まず、2年生になる前には絶対に工学部が良いと決めていました。そして高い目標を掲げて早く本格的に受験勉強を始めています。休み時間にクラスを覗いたときに、一人、黙々と参考書を広げていたり、放課後、六葉館で遅くまで自習する姿を知っています。第一志望には届かなかったと述べていますが、本気を出して自分の学力が高まった事を実感しています。那珂高生は目標ができれば地道にコツコツと努力できる生徒が多いです。ぜひ、早く高い目標を設定して国公立大学合格を目指してください。

【私立大学合格70名】（前年度83名）

私大進学者の実数は60名ですから、一般試験で複数合格を得る生徒も一定数いました。今年度の特筆すべき事は、常磐大学の合格者が42名と過去最多となったことです。地元志向が強くなっていることの現れかと思えます。また、神奈川大学や帝京大学、日本大学などの首都圏の中堅私大への合格も複数あったことは本校としてとても誇れることであります。



学科別にみると、社会系（経営・法律・現代社会など）が31名と特に多くなっています。また、食物・健康系が8名となり看護の7名とほぼ並んでいます。

【短期大学進学12名】（前年度5名）

常磐短大6名、茨城女子に5名、通信制1名です。前年度の短大進学者が5名ですので今年は増えています。学科としては幼児教育系が多いです。短大での生活は授業、レポート、試験、実習と極めて濃密な2年間です。教育者として自らの人格を高めることも大切なことです。

【高等看護専門学校進学7名】（前年度9名）

水戸看護2名、水戸メディカル2名、茨城北西3名です。全員女子でした。医療現場では多くの力仕事があり、男性看護師も必要とされています。試験形態では総合型4名、指定校2名、一般1名となっております。

【一般専門学校進学40名】（前年度41名）

県立IT短大（大学校に進学可）の3名を含みます。情報処理や電機・建築・自動車を学ぶのであれば、県立の短大や産業技術学院をお勧めします。地域や企業からの信頼があり、正社員就職率も100%です。民間の学校では、理学療法や歯科衛生など医療系や公務員系、ビジネス系の学科に進学する生徒が多いのが本校の特徴です。

【公務員合格8名】（前年度2名）

国税庁税務職員2名、茨城県警察官1名、常陸大宮市消防本部1名、茨城県小中学校事務2名、自衛隊一般曹候補生1名、自衛官候補生1名です。合格者の多い年度であり、複数の合格を得ている生徒が2名います。

市町村においては、統一試験日以外に複数の試験日を設定したり、テストセンター方式を導入して、任意の日を受験できるようにしたりするところが増えています。結果として極めて高倍率となり、合格が難しくなっています。国や県の試験も積極的に受験していくことを強くお勧めします。



【企業就職19名】（前年度19名）

男女を問わず製造業の現業職への就職が多くなっています。他の業種・職種と比べて、休日がしっかり取れることがメリットであり、大きい企業は給与や賞与等の待遇も良くなっています。6年度も大きな企業から内定を得た生徒が多かったです。また、事務職にも2名の内定を得ています。

6年度からは企業により二社応募が可能となっています。よく比較検討をし、後悔の無い選択をしてください。